

申請者 (ふりがな)	成田 めぐみ ( なりた めぐみ )
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2022 年 11 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本ストレスマネジメント学会 第 20 回 学術大会・研修会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	成田めぐみ
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	児童青年期を対象とした認知行動療法における他者視点取得の促進を目的とした介入方法
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p><b>【目的】</b></p> <p>これまでの研究において、他者視点取得の向上を目的とした認知行動療法 (以下、CBT) に基づく支援が行われているものの、その効果は一貫しておらず、詳細な支援方法や手続き上の工夫、その効果の検討という観点からの研究知見が十分に整理されているとは言いがたい現状にある。そこで、本研究では、他者視点取得の程度を向上させることを目的とした支援の手続きとその効果を概観し、CBT の観点から再整理することによって、他者視点取得の程度の向上に対する有効性について検討することを目的とした。</p> <p><b>【方法】</b></p> <p>文献収集 他者視点取得の程度を向上させるために介入が行われたとされる学術論文を対象とした。適格基準は、(a) 児童青年期に対して介入が行われていること、(b) 介入前後における諸変数の記述統計量が記載されていること、(c) 論文中にセッションの概要が記載されていること、(d) 他者の立場に立って物事を考えることが従属変数として扱われていることとした。国立情報科学研究所 NII 論文情報ナビゲーター (以下、CiNii) と American Psychological Association 制作の文献情報データベース (以下、PsycINFO) を用いて電子検索を行った。CiNii には、キーワードとして、他者視点取得、視点取得、役割取得、感情的視点取得、空間的視点取得、認知的視点取得のそれぞれに、大学生、高校生、中学生、小学生を組み合わせ用いた。PsycINFO には、キーワードとして、「“perspective-taking or perspective taking or perceptual perspective-taking or affective perspective-taking or cognitive or conceptual perspective-taking role-taking ability” AND “college students or high school students or junior high school students or elementary school students”」を用いた。データ抽出を PRISMA 声明に従って行った。</p> <p><b>【結果・考察】</b></p> <p>本論考の結果、他者視点取得の程度をより向上させるためには、認知的発達段階に応じた手続きが必要であると考えられる。具体的には、小学生にはロールプレイなどの体験的理解に重点をおいたプログラムを実施し、中学生や高校生には体験的理解に加えて、認知行動的特徴を俯瞰的に理解することに関連するセルフモニタリングを実施する手続きを加える必要性が考えられる。</p>	

※無断転載禁止